

## Silk Performer 10.0

インストール ヘルプ

Micro Focus  
575 Anton Blvd., Suite 510  
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2013. All rights reserved. Silk Performer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2013 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-06-17

# 目次

|  |           |
|--|-----------|
| <b>はじめに</b> .....                              | <b>4</b>  |
| システム要件 .....                                   | 4         |
| パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス .....                   | 5         |
| インストール パッケージの内容 .....                          | 7         |
| <b>Silk Performer のライセンス管理</b> .....           | <b>8</b>  |
| Silk Performer ライセンス ポリシーを生成する .....           | 9         |
| ホスト ID を調べる .....                              | 9         |
| SilkMeter のインストール .....                        | 9         |
| 以前のバージョンの SilkMeter をアンインストールする .....          | 10        |
| ライセンス サーバー上へ SilkMeter をインストールする .....         | 10        |
| SilkMeter ライセンス サーバーの構成 .....                  | 11        |
| ライセンス サーバーの構成を変更する .....                       | 12        |
| <b>Silk Performer をインストールする</b> .....          | <b>13</b> |
| 完全インストールする .....                               | 13        |
| エージェントのみをインストールする .....                        | 15        |
| Silk Performer SOA Edition をインストールする .....     | 15        |
| Silk Performer サービス パック リリースへアップグレードする .....   | 17        |
| Silk Performer をアンインストールする .....               | 17        |
| サイレント モードでのインストール .....                        | 18        |
| サイレント モードでのアンインストール .....                      | 19        |
| ShopIt V 6.0 をインストールする .....                   | 19        |
| Eclipse プラグインをインストールする .....                   | 20        |
| <b>リモート コンピュータへのエージェント ソフトウェアのインストール</b> ..... | <b>21</b> |
| リモート インストール .....                              | 21        |
| エージェント ソフトウェアのインストールおよびアンインストールのためのオプション ..... | 21        |
| 平均インストール時間 .....                               | 22        |
| シナリオ .....                                     | 22        |
| シナリオ 1 : 1 つのドメインまたはワークグループ .....              | 23        |
| シナリオ 2 : 2 つのドメインまたはワークグループ .....              | 23        |
| シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする .....                | 24        |
| シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN .....      | 25        |
| シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN .....    | 25        |
| シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN .....   | 26        |
| トラブルシューティング .....                              | 26        |

# はじめに

このヘルプでは、Silk Performer ソフトウェアをインストール/アンインストール、および、負荷テスト環境を準備をする際に必要な情報を提供します。事前にインストールが必要なハードウェアやソフトウェアの要件、および、インストールの代替オプションなどについても提供していきます。

Silk Performer をインストールする前に **セットアップ** ウィザードは、Silk Performer をインストールし利用するために必要なソフトウェアがすべてお使いのコンピュータ上に準備できているかを確認します。準備されていない場合、**セットアップ** ウィザードはそれらの欠けているソフトウェアをインストールするための選択肢を提示します。

Silk Performer ソフトウェアは、3通りの形でインストールすることができます。コントローラ コンピュータ上には、マルチマシン コントローラとエージェント ソフトウェアの両方をインストールすることができます。これには、ドキュメントとサンプル ファイルが同梱されています。エージェント コンピュータには、エージェント ソフトウェアのみ必要です。Silk Performer で負荷テストを実行するには、最低 1 台のコントローラ コンピュータ上には、コントローラ ソフトウェアをインストールする必要があります。

このセクションでは、利用可能な各インストール タイプに対して、それぞれ必須または推奨されるインストール オプションについて説明します。

## システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

### ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。

表 1 : 負荷テスト

| システム領域       | 要件   |
|--------------|--|
| プロセッサ        | Pentium IV もしくは同等の CPU   |
| RAM          | 512 MB 推奨 (最小)<br>1 GB 推奨  |
| 仮想メモリ        | RAM の 3 倍の仮想メモリ  |
| ハード ディスク領域   | コントローラ ソフトウェア インストールに 650 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB<br>行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。 |
| ネットワーク       | TCP/IP を備えた Windows ネットワーク (リモート Silk Performer エージェント コンピュータを利用する場合)  |
| ネットワーク アダプター | 10 MBit 推奨 (最小)  |

| システム領域 | 要件             |
|--------|----------------|
|        | 高速 Ethernet 推奨 |

Silk Performer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用する場合には、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

表 2 : 記録、スクリプティング、監視

| システム領域    | 要件                     |
|-----------|------------------------|
| プロセッサ     | Pentium IV もしくは同等の CPU |
| RAM       | 256 MB                 |
| ハードディスク領域 | 440 MB                 |
| ネットワーク    | TCP/IP                 |

### ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールして実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。


必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、システムに 32 ビット Java Development Kit 1.4, 1.5, 1.6, 1.7 のいずれかが必要です。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Internet Explorer 7, 8, 9, 10 (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp Client 11.x, 12.x または Citrix Receiver
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための 32 ビット Java Development Kit 1.4, 1.5, 1.6, 1.7

## パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス


### エージェントごとの最大仮想ユーザー数

以下のテーブルに、エージェント マシンのハードウェア リソースと実行する Web アプリケーション テストのタイプに基づく、エージェント コンピュータあたりの推奨最大仮想ユーザー数を示します。


 **注:** SSL を使用したアプリケーションのテストでは、可能な仮想ユーザー数が 35% 減少します。[エラー時に TrueLog を生成する] を有効にしたテストでは、可能な仮想ユーザー数が 30% 減少します。ブラウザレベルの API (Web 低レベル) を使用した Web アプリケーションのテストでは、可能な仮想ユーザー数が 20% 増加します。

| システム                                   | OS                        | Web ビジ              | SSL による Web              | TrueLog On      | SSL によ                   |                    |
|--|---------------------------|---------------------|--------------------------|-----------------|--------------------------|--------------------|
|  |                           | ネス アプ<br>リケーシ<br>ョン | ビジネス アプリケ<br>ーション (-35%) | Error<br>(-30%) | る<br>TrueLog<br>On Error | Web 低レベル<br>(+20%) |
| Intel Xeon Quadcore<br>3 GHz、16 GB RAM | Windows<br>Server<br>2008 | 6500                | 4225                     | 4550            | 2958                     | 7800               |

| システム   | OS                      | Web ビジネス アプリケーション | SSL による Web ビジネス アプリケーション (-35%) | TrueLog On Error (-30%) | SSL による TrueLog On Error | Web 低レベル (+20%) |
|--|-------------------------|-------------------|----------------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|
| Intel Core i7<br>Quadcore 2.8 GHz、<br>8 GB RAM | Windows 7<br>Enterprise | 6500              | 4225                             | 4550                    | 2958                     | 7800            |
| Intel Core2 Duo 3<br>GHz、4 GB RAM              | Windows 7<br>Enterprise | 4700              | 3055                             | 3290                    | 2139                     | 5640            |
| Intel Pentium 4 3.2<br>GHz、2 GB RAM            | Windows<br>XP           | 3900              | 2535                             | 2730                    | 1775                     | 4680            |

 **注:** Web ビジネス アプリケーションは、ページレベル API (HTML/HTTP) を使用します。Web 低レベルは、ブラウザレベルの API (HTTP) を使用します。

### クラウド エージェントあたりの仮想ユーザー数

 **注:** クラウドベース エージェントあたりの最大仮想ユーザー数は、テスト中のアプリケーションのタイプに関係なく 1,000 となります。

以下のテーブルに、テスト中のアプリケーションのタイプに基づいて、コンピュータベースのエージェントで通常サポートされる仮想ユーザー数を示します。

| テスト中のアプリケーション  | コンピュータベースのエージェントでサポートされる仮想ユーザー数 |
|----------------|---------------------------------|
| ブラウザ駆動型負荷テスト   | 30                              |
| Java/.NET      | 250                             |
| セキュア Web (SSL) | 600                             |
| Web            | 800                             |

### テスト パラメータ

上の表の数値は、以下のような特徴を持つ現実的なワークロードを使用して決定したものです。

- リクエストされる全 Web ページのページ構成は、一般的な公開 Web ページ相当とする。
- 仮想ユーザーのページ ビュー間の平均思考時間は 32 秒であった。
- 1 人の仮想ユーザーは、4 つ同時使用接続によってエミュレートされた。

つまり、シミュレートされる仮想ユーザー数は、1 つの一般的な Web サイトに同時にアクセスしている実際のユーザー数に相当し、次のような結果になります。

- ページあたりの平均ヒット数：39
- 平均ページ サイズ：130 KB
- ページ間の平均思考時間：32 秒

### Web プロトコル仮想ユーザーのエージェント容量

Silk Performer は以下のパラメータを考慮した公式を使用して、マシンの容量を決定します。

- CPU 数
- CPU ごとのコア数
- CPU 速度
- メモリ サイズ

結果は、対応するパラメータを持つエージェント マシン上で Web プロトコル スクリプトを実行できる仮想ユーザーの数で表されます。

### 他の仮想ユーザー タイプのエージェント容量

特定のエージェント マシン上で実行可能な仮想ユーザー数を決定するには、特定のテクノロジーの機能の複雑度の値で Web プロトコル仮想ユーザー数に重み付けを行います。テクノロジーの機能の複雑度により、Web プロトコル仮想ユーザーに対する仮想ユーザーの比率が決まります。

Web プロトコル仮想ユーザーの機能の複雑度は 10 に定義されています。機能の複雑度が 20 であれば、Web プロトコル ユーザーの半数の仮想ユーザーを同一のマシン上で実行できることになります。

サポートされるすべてのテクノロジーの機能の複雑度の値は、<SP install dir>/AgentPools にある CapabilityComplexity.xml ファイルに保存されます。



**注:** 一部のテクノロジーでは、CPU やメモリの制限というよりも単に OS の制限事項により、仮想ユーザーの最大数がマシンごとに定義されます。

## インストール パッケージの内容

このトピックでは、インストール CD および Web パッケージに含まれているプログラムに関する概要を提供します。Silk Performer を完全インストールするためには、それらのプログラムが必要となります。ユーザーは、**セットアップ** ウィザードを使用して、足りないプログラムをインストールすることができます。コンポーネントを個別にインストールするには、以下で指定された場所から EXE ファイルを実行します。

### ShopIt V 6.0

ShopIt V 6.0 サンプル Web アプリケーションを、次のフォルダからインストールします。

¥Extras¥ShopItV60.exe

### SilkMeter

SilkMeter を、次のフォルダからインストールします。

¥SilkMeter¥SilkMeter.exe

このフォルダには、お使いのコンピュータに関する情報の取得を支援するプログラムも含まれています (smHostInfo.exe)。この情報は、SilkMeter ライセンスを取得するためにお客様がカスタム サポートにお問い合わせいただく際に必要となります

# Silk Performer のライセンス管理

このセクションでは、Silk Performer のライセンス ポリシーの取得方法と、SilkMeter のインストール方法について説明します。SilkMeter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。



**注:** Silk Performer には、SilkMeter バージョン 2008 以降と Silk Performer ライセンス ポリシーが必要となります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

Silk Performer ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。

## ライセンス情報

Silk Performer 10.0 には、新たに 10.0 のライセンスが必要です。バージョン 10.0 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの Silk Performer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

Silk Performer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) に基づいています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の Silk Performer のアプリケーションの種類があります。

| VUser タイプ | アプリケーションの種類   |
|-----------|---|
| Web       | Web ブラウザ駆動<br>HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル)<br>HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル)<br>HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP)<br>Silverlight<br>モバイル<br>SAP NetWeaver<br>WebDAV (MS Outlook Web Access)<br>電子メール (SMTP/POP)<br>FTP<br>TCP/IP<br>UDP<br>AMF0/AMF3/FLEX<br>DLL インターフェイス |
| 標準        | Web すべてとそれに加えて：<br>.Net Add-On<br>Java Add-On   |



| VUser タイプ | アプリケーションの種類                         |
|-----------|-------------------------------------|
| プレミアム     | DB2-CLI Add-On                      |
|           | OCI Add-On                          |
|           | ODBC Add-On                         |
|           | Visual Basic Add-On (Framework)     |
|           | ディレクトリ サーバー (LDAP)                  |
|           | CORBA Add-On                        |
|           | 標準 すべてとそれに加えて :                     |
|           | GUI レベル テスト (Silk Test 4Test スクリプト) |
|           | Remedy Web ARS                      |
|           | SAPGUI Add-On for Silk Performer    |
|           | Oracle Applications/Forms Add-On    |
|           | PeopleSoft Add-On                   |
|           | Siebel Add-On                       |
|           | Citrix Add-On                       |
|           | ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On         |
|           | Tuxedo/ATMI Add-On                  |

## Silk Performer ライセンス ポリシーを生成する

Silk Performer を実行するには、ライセンス ポリシーが必要となります。ユーザーは、Online License Generator を使用して、ライセンス ポリシーを生成することができます。Online License Generator には、Firefox や Internet Explorer など、SSL 対応ブラウザが必要となります。ライセンス ポリシーの生成手順を電子メールで受信します。手順を受信しなかった場合は、<http://support.microfocus.com> より Customer Care にお問い合わせください。

## ホスト ID を調べる

1. ライセンス サーバー上でコマンド プロンプトを開き、コマンド ipconfig/all を入力します。ライセンス サーバーが、接続アドレスを一覧表示します。
2. ホスト ID (お使いの LAN カードの MAC アドレス もしくは 物理アドレス) を確認してください (例 : 00-BF-00-1C-D3-3D)。

Silk Performer のためのライセンス ポリシーを取得するには、この情報を入力する必要があります。



**ヒント:** システムの設定によっては (仮想マシンや VPN 接続を含む)、複数の MAC アドレスをお持ちの場合もあります。実際の LAN カードのホスト ID であることを確認してください。

## SilkMeter のインストール

Silk Performer ライセンス ポリシーをお持ちの場合には、SilkMeter をインストールする際に、そのポリシーをインストールすることができます。Silk Performer ライセンス ポリシーを取得するには、Online License Generator にアクセスして、ライセンス ポリシーを生成します。

Silk Performer ライセンス ポリシーは、SilkMeter をライセンス サーバー上へインストールする時点で、必須というわけではありません。SilkMeter の **User Policy Administrator** を使用して、Silk Performer ライセンス ポリシーを後からインポートすることも可能です。ただし、ライセンス ポリシーは Silk Performer を実行する前にインポートする必要があります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

### SilkMeter ライセンス サーバーの要件

SilkMeter をインストールする前に、*Release Notes* を参照して、お使いのライセンス サーバーが要件を満たしているか確認してください。

## 以前のバージョンの SilkMeter をアンインストールする

SilkMeter が既にライセンス サーバー上にインストールされている場合には、最新バージョンの SilkMeter をインストールする前に、それをアンインストールしなければなりません。

1. **スタート > プログラム > Silk > SilkMeter > Uninstall** を選択します。
2. **Yes** をクリックして、SilkMeter をアンインストールします。 **Remove Settings** ダイアログ ボックスが開きます。
3. **No** をクリックした場合には、SilkMeter の設定が保持されます。



**注目:** 現在、SilkMeter ライセンス サーバー上に存在するライセンス ポリシーを維持するには、**No** をクリックしなければなりません。

4. コンピュータを再起動します。

SilkMeter はアンインストールされ、これで、最新バージョンの SilkMeter をインストールする準備ができました。

## ライセンス サーバー上へ SilkMeter をインストールする

SilkMeter をインストールする前に、次の情報を確認します。

- ユーザー アカウントに管理者権限があること。
  - SilkMeter のインスタンスが、ライセンス サーバー上にインストールされていないこと。
1. SilkMeter 実行可能ファイル SilkMeter.exe を探し、次のようにして順次ステップを実行していきます。
    - Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥SilkMeter ¥SilkMeter.exe を入力して、SilkMeter セットアップ プログラムを手動で開始します。
    - ダウンロードした SilkMeter をお持ちの場合、次のステップを実行します。
      1. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。
      2. その EXE ファイルをダブルクリックします。
    - SilkMeter をダウンロードする場合、次のステップを実行します。
      1. <http://supportline.microfocus.com/licensing/silkmeter.asp> にアクセスしてください。
      2. **SilkMeter 2008** をクリックしてから、**Save File** をクリックします。
      3. このファイルを保存する場所を指定して、**保存** をクリックします。  
代替方法：ブラウザから EXE ファイルをダブルクリックして、ファイルを実行します。
      4. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。
      5. その EXE ファイルをダブルクリックします。

Silk Performer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **Next** をクリックし、続行します。 セットアップによって、ファイルが一時ディレクトリに展開されます。
3. **Next** をクリックし、続行します。 **使用許諾契約** ページが開きます。
4. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。 これらの条項に同意する場合は、**Yes** をクリックして、続行します。 **Enter Installation Path and Configuration Directory for SilkMeter Runtime** ページが開きます。
5. **Next** をクリックして、SilkMeter をデフォルト ディレクトリにインストールし、デフォルト設定フォルダ %cfg を使用します。 **Enter Host Name** ページが開きます。
6. ホスト名およびポートを入力または確認して、**Next** をクリックします。



**注:** ここでのホスト名は、SilkMeter がインストールされるコンピュータの名前です。

**Select Program Folder** ページが開きます。

7. **Program Folders** テキスト ボックスで、デフォルト プログラム フォルダである SilkSilkMeter をそのまま利用するか、別のプログラム フォルダを指定し、**Next** をクリックして続行します。 SilkMeter がインストールされます。 完了すると、**Install SilkMeter Policy** ページが開きます。
8. 次のいずれか 1 つのステップを行います：
  - Silk Performer のライセンス ポリシーが既にある場合、**参照 (...)** をクリックして、Silk Performer ライセンス ポリシー ファイル license.pol を保存した場所まで移動し、**Open** をクリックします。 **Finish** をクリックして、Silk Performer ライセンス ポリシーをインストールします。
  - Silk Performer ライセンス ポリシーをまだ持っていない場合は、**Finish** をクリックします。 Silk Performer ライセンス ポリシーは、後で受け取った際にインポートすることができます。 Silk Performer ライセンス ファイルをインポートするための手順については、Online License Generator や SilkMeter Runtime Help のヘルプから確認することができます。

**View Release Notes** ページが開きます。

9. **Yes** をクリックして SilkMeter リリース ノートを表示させるか、**No** をクリックしてリリース ノートを表示させずにインストールを続行させます。 **InstallShield Wizard Complete** ページが開きます。
- 10 **Finish** をクリックしてインストールを完了させます。



**重要:** セットアップによってコンピュータを再起動することを要求された場合は、コンピュータを再起動します。

## SilkMeter ライセンス サーバーの構成

Silk Performer のいずれのバージョンを実行する場合にも、SilkMeter をネットワーク内にあるコンピュータ上にインストールし、構成しなければなりません。

Silk Performer と SilkMeter の間の通信プロセスは、次のファイルおよび変数によって設定されています。

- `SILK_CONFIG_PATH` 環境変数
- CosLicensingService.ref ファイル
- CosPropertyService.ref ファイル
- ls\_segue.ref ファイル
- silkmeter.cfg ファイル



**重要:** これらのファイルは削除しないでください。

Silk Performer セットアップ プログラムが、**Select SilkMeter License Server** ユーティリティのテキスト ボックスに入力された値を基に、これらのオブジェクトを作成します。

# ライセンス サーバーの構成を変更する

**Select SilkMeter License Server** ユーティリティを使用して、ライセンス サーバーの構成を変更または修復します。このユーティリティは、Silk Performer のインストール時に一緒にインストールされ、ローカル システム内に SilkMeter ライセンス サーバーの構成ファイルがあるかどうかを確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合には、**Select SilkMeter License Server** ダイアログ ボックスにデフォルトの設定が表示されます。

1. **スタート > プログラム > Silk > Silk Performer10.0 > 管理ツール > ライセンス サーバー構成の変更** を選択します。 **Select SilkMeter License Server** ユーティリティが開きます。
2. **Application (アプリケーション)** リスト ボックスで、ライセンス サーバーを設定したい製品を選択します。
3. **Using local or remote server (ローカルまたはリモート サーバーを使用する)** オプション ボタンをクリックして、SilkMeter ライセンス サーバーを設定します。
4. **License Server Host (ライセンス サーバー ホスト)** テキスト ボックスに、SilkMeter ライセンス サーバーのコンピュータ名を入力します。  
ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでない限り、**Port Number (ポート番号)** は変更しないでください。
5. **Apply (適用)** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を生成します。
6. **Test Connection (接続のテスト)** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。接続が成功した場合には、**Status (ステータス)** テキスト ボックスに SUCCESS メッセージが表示されます。



**注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

7. **Close (閉じる)** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を完了させます。

# Silk Performer をインストールする

このセクションでは、Silk Performer に対して利用可能なインストール オプションの概要を提供します。

Silk Performer セットアップ プログラムを使用すると、お使いのテスト環境内にある、コントローラ コンピュータにはマルチマシン コントローラとエージェント ソフトウェアを、エージェント コンピュータにはエージェント ソフトウェアをインストールできます。 リモート エージェント コンピュータで Silk Performer を使用する場合は、コントローラ コンピュータを少なくとも 1 つセットアップする必要があります。

インストールを開始する前に、お使いのコンピュータがインストールの事前要件を満たしているかどうか確認してください。 インストール プログラムはシステムを検査して、必要な場合には、足りないソフトウェア パッケージをインストールします。

## 完全インストールする

作業を開始する前に、Silk Performer の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Performer の CD を CD ドライブに挿入します。

Silk Performer の完全インストールでインストールされる機能は次のとおりです。

- ワークベンチ
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)
- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Silk Performer エージェント
- すべてのサンプル

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、Silk Performer セットアップ プログラムを手動で開始します。

Silk Performer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** ページが開きます。

3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。 **インストール セットの選択** ページが表示されます。

4. **Silk Performer 10.0** インストール セットをクリックして Silk Performer 環境をインストールし、**次へ** をクリックします。 **インストールのカスタマイズ** ページが表示されます。

5. インストールするコンポーネントを選択します。

- **Silk Performer Workbench 10.0**: Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの負荷テストを行えるように Silk Performer 環境をフル インストールする場合は、このオプションを選択します。
- **高度なインストール**: このオプションを選択して、Silk Performer とともにインストールする任意のツールを選択します。


**インストール フォルダの選択** ページが表示されます。



6. インストール フォルダを指定して、Silk Performer のショートカット アイコンを作成する場所 (デスクトップ上やクイック起動バー) を選択し、**次へ** をクリックします。

デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：

- a) **選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。
- b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。

 **注:** Silk Performer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

**インストール前の要約** ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。

- **評価版** - Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は 10 仮想ユーザーに制限されています。あとから、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
- **完全版** - Silk Performer ライセンスが必要な Silk Performer の無制限版をインストールします。

9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**SilkMeter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページが開かない場合は、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。


- **ローカルまたはリモート サーバーを使用する：ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。

 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- **スタンドアロン ライセンスを使用する：** SilkMeter をスタンドアロンで実行します。**選択** ボタンを使用して、SilkMeter ライセンス ファイルの場所を指定します。

**インストール完了** ページが表示されます。

- 10 **完了** をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

インストールに失敗した場合は、インストール フォルダにあるインストール ログ ファイル Install.log を参照できます。

## エージェントのみをインストールする

作業を開始する前に、Silk Performer の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Performer の CD を CD ドライブに挿入します。

リモート Silk Performer エージェントとして使用する各ホストには、エージェントをインストールする必要があります。エージェントは、リモートコンピュータで Silk Performer スクリプトを実行するために使用されます。

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。セットアッププログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、Silk Performer セットアッププログラムを手動で開始します。

Silk Performer インストールウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** ページが開きます。
3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。 **インストールセットの選択** ページが表示されます。
4. **Silk Performer 10.0 Agent** インストールセットをクリックして Silk Performer エージェントソフトウェアをインストールし、**次へ** をクリックします。 **インストールフォルダの選択** ページが表示されます。
5. インストールフォルダを指定して、Silk Performer のショートカットアイコンを作成する場所 (デスクトップ上やクイック起動バー) を選択し、**次へ** をクリックします。  
デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：
  - a) **選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログボックスが開きます。
  - b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストールフォルダの選択** ページに戻ります。



**注:** Silk Performer は、ローカルドライブにインストールしなければなりません。

**インストール前の要約** ページが表示されます。

6. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

7. **完了** をクリックしてインストールを完了させます。



**注:** セットアップウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システムライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由でセットアップウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

## Silk Performer SOA Edition をインストールする

次の機能が、Silk Performer SOA Edition と共にインストールされます。

- SOA Workbench
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)

- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Java のサンプル
- .NET のサンプル
- Silk Performer エージェント

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。セットアッププログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、Silk Performer セットアッププログラムを手動で開始します。

Silk Performer インストールウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** ページが開きます。
3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。 **インストールセットの選択** ページが表示されます。
4. **Silk Performer 10.0 SOA Edition** インストールセットをクリックして Silk Performer SOA Edition をインストールし、**次へ** をクリックします。 **インストールのカスタマイズ** ページが表示されます。
5. インストールするコンポーネントを選択します。

- **Silk Performer 10.0 SOA Edition** : Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの負荷テストを行えるように Silk Performer SOA Edition 環境をフルインストールする場合は、このオプションを選択します。
- **高度なインストール**: Java アプリケーションの負荷テストを行うツールや .NET アプリケーションをテストするためのツールを個別にインストールする場合は、このオプションを選択します。

**インストールフォルダの選択** ページが表示されます。

6. インストールフォルダを指定して、Silk Performer のショートカットアイコンを作成する場所 (デスクトップ上やクイック起動バー) を選択し、**次へ** をクリックします。  
デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：
  - a) **選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログボックスが開きます。
  - b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストールフォルダの選択** ページに戻ります。



**注:** Silk Performer は、ローカルドライブにインストールしなければなりません。

**インストール前の要約** ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。
  - **評価版** - Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は 10 仮想ユーザーに制限されています。あとから、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
  - **完全版** - Silk Performer ライセンスが必要な Silk Performer の無制限版をインストールします。
9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**SilkMeter ライセンスサーバーの選択** ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、こ



のページが開かない場合は、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。


- **ローカルまたはリモート サーバーを使用する**： **ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。 ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。 **接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。 ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。

 **注**: 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。 SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- **スタンドアロン ライセンスを使用する**： SilkMeter をスタンドアロンで実行します。 **選択** ボタンを使用して、SilkMeter ライセンス ファイルの場所を指定します。

**インストール完了** ページが表示されます。

**10完了** をクリックしてインストールを完了させます。

 **注**: セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。


## Silk Performer サービス パック リリースへアップグレードする

Silk Performer のメジャーおよびマイナー リリースは同一コンピュータにインストールできます。たとえば、バージョン 2010 とバージョン 2010 R2 は同一コンピュータ上に存在できます。ただし、リリースバージョンとサービス パック リリース は同一コンピュータにインストールできません。

マイナー リリースからサービス パック リリースにアップグレードする場合は、既存のマイナー リリースを削除してから、サービス パック リリースをインストールする必要があります。

Silk Performer サービス パック リリースにアップグレードするには、次のステップを実行します。

1. 現在インストールされている Silk Performer を削除します。プロジェクトのディレクトリはこの手順の途中に削除されません。

 **注**: インストールした Silk Performer エージェントも同様に削除します。

2. 新しい Silk Performer サービス パックをインストールします。

## Silk Performer をアンインストールする


削除機能は、指定されたソフトウェア パッケージ (すべてのファイル、およびレジストリ エントリを含む) をコンピュータから削除します。

1. Windows の **プログラムの追加と削除** ウィンドウを開きます。
2. Windows で自動的にアンインストールできるソフトウェアのリストから、Silk Performer10.0 を選択します。

3. **アンインストールと変更** をクリックします。 **Silk Performer10.0 インストールの変更** ウィザードが開きます。
4. **次へ** をクリックします。 **機能を削除する** ページが表示されます。
5. **次へ** をクリックして、アンインストールを開始します。進捗バーにより、アンインストール処理の状況がわかります。 **アンインストール完了** ページが表示されます。
6. **アンインストール完了** ページに、削除できなかったアイテムの情報が表示されます。通常これらは、削除すべきでない共有ファイルです。Silk Performer で作業したときに作成されたファイル (Silk Performer プロジェクトなど) も削除されません。 **完了** をクリックしてアンインストールを完了させます。

## サイレントモードでのインストール

セットアッププログラムでは、ユーザーが対話的に入力しないで製品をインストールするためのオプションが用意されています。このオプションは、「サイレントモードインストール」と呼ばれており、Silk Performer のインストールにも使用できます。この機能は特に、LAN やインターネット上で、リモートインストールツールなどを介してソフトウェアを配布する場合などに便利です。

1. インストールパッケージをサイレントモードで実行するようカスタマイズする前に、インストール先コンピュータのハードドライブ上にあるディレクトリに、インストールファイルを準備する必要があります。Silk Performer インストール CD からインストールパッケージを提供するには、CD の内容をお使いのコンピュータのハードドライブ上にある空のディレクトリにコピーします。
2. ファイルをコピーしたフォルダで、ファイル `silentinstall.properties` を探し、テキストエディタでこれを開きます。以下のパラメータを変更できます。
  - `CREATE_DESKTOP_ICON` : デスクトップに Silk Performer アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
  - `CREATE_QUICKLAUNCH_ICON` : クイック起動バーに Silk Performer アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
  - `SILKMETER_LICENSESERVER_HOST` : SilkMeter ライセンスサーバーをホストするコンピュータの名前を指定します。
  - `SILKMETER_LICENSESERVER_PORT` : SilkMeter ライセンスサーバーがリスンするポート番号を指定します。
  - `CHOSEN_INSTALL_SET` : 以下のインストールセットのいずれか 1 つを指定します。
    - `ENTERPRISE` - Silk Performer 環境を完全インストールします。
    - `SOA` : Silk Performer SOA Edition をインストールします。
    - `Agent` : Silk Performer エージェントソフトウェアのみをインストールします。
  - `USER_INSTALL_DIR` : Silk Performer をインストールするフォルダを指定します。
  - `USER_INPUT_RESULT_EVAL` : 1 に設定して Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。
  - `USER_INPUT_RESULT_FULL` : 1 に設定して Silk Performer の無制限版をインストールします (Silk Performer ライセンスが必要です)。  
 **注:** `USER_INPUT_RESULT_FULL` または `USER_INPUT_RESULT_EVAL` のいずれかを 1 に設定する必要があります。その他は 0 に設定してください。
  - `PACKAGE` : リモートエージェントインストーラパッケージファイルの名前。このパラメータは、リモートエージェントにホットフィックスをインストールする場合に設定する必要があります。また、ホットフィックスファイルの EXE の名前と一致させる必要があります。ホットフィックスパッケージが `perfRsManager.exe` と同じフォルダにない場合は、完全修飾パスで名前を指定してください。
3. ファイル `silentinstall.properties` を保存します。

4. ファイル silentinstall.properties および Setup.exe が常駐するフォルダで、コマンドライン プロンプトを開き、以下のコマンドを入力します。

```
Setup.exe -f c:¥<your directory>¥silentinstall.properties
```

Silk Performer は silentinstall.properties ファイルで定義されたオプションとともにインストールされています。

## サイレントモードでのアンインストール

Silk Performer をサイレントモードでアンインストールすることにより、ユーザー入力なしでアンインストールを行えます。

1. Windows の **プログラムの追加と削除** ウィンドウを開きます。
2. Windows で自動的にアンインストールできるソフトウェアのリストから、Silk Performer10.0 を選択します。
3. **アンインストールと変更** をクリックします。

Silk Performer ソフトウェア パッケージが、ユーザーによる操作がなくてもコンピュータから削除されません。

## ShopIt V 6.0 をインストールする

Silk Performer のサンプル Web アプリケーションが、ShopIt V 6.0 です。ShopIt V 6.0 は、シンプルな e コマース Web サイトをシミュレートするもので、オンライン購入のシミュレーションに使用できる キャンピング用品カタログを備えています。このアプリケーションを使用すると、Silk Performer の Web アプリケーション機能を試すことができます。ShopIt V 6.0 は、不明な Web リンク (商品の在庫切れが原因) やセッション エラーなどのエラーを生成するように作られています。

ShopIt V 6.0 をインストールする前に リリース ノート を参照し、お使いのシステムで ShopIt V 6.0 の使用がサポートされているか確認してください。

ShopIt V 6.0 セットアップは、次の場所から利用できます。

- Silk Performer のインストール CD ¥ Extras ¥ ShopItV60.exe
  - Web パッケージ：抽出された Web パッケージを保存した場所で、¥ Extras ¥ ShopItV60.exe を探してください。
1. インストール CD の ¥ Extras フォルダ、またはダウンロードした場所にある、ShopItV60.exe ファイルをダブルクリックします。



**注:** ShopIt V 6.0 では、IIS (Internet Information Server) が ShopIt V 6.0 をインストールするコンピュータにインストールされていることが必要です。IIS 7 では、Role Services ASP と ISAPI Extensions もインストールします。

InstallShield によるインストールの準備ができると、**Welcome** ページが開きます。

2. **次へ** をクリックします。 **Choose Destination Location** ページが開きます。
3. デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、**Browse** をクリックし、**Choose Folder** ダイアログ ボックスを開きます。

デフォルトのインストール先が、*Destination Folder* セクションに表示されます。

ShopIt V 6.0 をインストールするフォルダを指定して、**OK** をクリックして前のダイアログ ボックスに戻ります。

4. **Next** をクリックして、インストールプロセスを続行します。

Web アプリケーションの仮想ディレクトリの名前をエントリ フィールドに入力します。これは Web サーバー上に作成されるディレクトリの名前です。 **Next** をクリックし、続行します。

**Specify Virtual Directory** ダイアログ ボックスが開きます。

5. セットアップによりファイルがインストールされ、IIS で ShopIt V 6.0 Web アプリケーションが実行されるように設定されます。完了すると、**Installation Complete** ダイアログ ボックスが開きます。

6. **Installation Complete** ダイアログ ボックスで、**Finish** をクリックします。ShopIt V 6.0 Web アプリケーションをインストールしたコンピュータで使用する準備ができました。選択した Web ブラウザで次の URL を入力して、ShopIt V 6.0 にアクセスできます。

```
http://<computer name>/<virtual directory name>/
```

例：

コンピュータ名が JohnSmith で、仮想ディレクトリのデフォルト値 ShopItV60 を変更していない場合、URL は次のようになります。

```
http://JohnSmith/ShopItV60/
```

あるいは、インストールしたコンピュータから ShopIt V 6.0 にアクセスする場合は、次の URL でも動作します。

```
http://localhost/ShopItV60/
```

7. IIS 7 では、仮想ディレクトリを IIS に手動で追加します。

- エイリアス：ShopItV60
- 物理パス：ShopIt のディレクトリをインストールします。

## Eclipse プラグインをインストールする

プラグインを実行するコンピュータには、Eclipse SDK および Silk Performer がインストールされている必要があります。さらに、Silk Performer をコンピュータで少なくとも 1 回実行しておく必要があります。

1. 標準的なプラグイン インストール手順で、Eclipse SDK ( **ヘルプ** > **ソフトウェア更新** ) から Eclipse プラグインをインストールします。

Eclipse にプラグインをインストールする方法について不明な点がある場合は、Eclipse のドキュメントを参照してください。

2. 追加するサイトの確認が表示されたら、Silk Performer Extras フォルダに含まれるサイトを指定します。

Extras フォルダは Silk Performer インストール フォルダにあります。

3. Silk Performer Extras ディレクトリ内の Eclipse プラグイン ディレクトリ (.../Extras/eclipseplugin/) を参照して選択します。

4. **Group items by category** チェック ボックスがオンになっていないことを確認します。

5. Silk Performer Eclipse プラグインが一覧表示されたら、新しいローカル サイトのプラス記号をクリックして、内容を展開します。

6. プラグイン機能 (**Silk Performer フィーチャー**) のチェック ボックスをオンにして、**インストール** をクリックします。**インストール** ダイアログ ボックスが開きます。


7. **次へ** をクリックします。**インストール** ダイアログ ボックスに使用許諾契約の説明が表示されます。

8. 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**完了** をクリックします。

9. **はい** をクリックして、Eclipse ワークベンチを再起動します。Eclipse ワークベンチが再起動すると、Eclipse ワークベンチに Silk Performer のメニュー エントリが表示されます。

# リモートコンピュータへのエージェントソフトウェアのインストール


Silk Performer にはコマンドライン ツールが付属していて、ユーザーの Windows ドメインまたはワークグループ内のリモート コンピュータに Silk Performer エージェント ソフトウェアをセットアップできます。

 **重要:** Windows Server 2003 と Windows XP Professional : **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーが有効である場合、ローカル システム アカウントのユーザーに guest アカウント利用を強制されないよう、Windows 管理者にこの設定を変更するよう依頼してください。このようにしない場合は、Silk Performer エージェント インストールに失敗します。コンピュータがワークグループに参加している場合、この **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーは、デフォルトで有効になっています。

## リモートインストール

Silk Performer コマンドライン ツールを使用すると、リモート コンピュータ上にエージェントソフトウェアをインストールできます。リモート コンピュータからエージェントソフトウェアをアンインストールすることもできます。リモート コンピュータは、インターネット上の任意の場所に配置することができます。

リモート エージェントのセットアップ コマンドライン ツールの使用に関してヘルプが必要な場合は、パラメータを指定しないで、perfRsManager.exe ツールを呼び出します。

 **注:** コマンドライン ツールは Silk Performer のインストール サブディレクトリから起動する必要があります。

次のような情報が表示されます。

**使用方法** perfRsManager -<mode> -host <host name> {-option {values} }

**-<mode>**

- -i : エージェントソフトウェアをリモート コンピュータにインストールまたは再インストールします。
- -r : エージェントソフトウェアをリモート コンピュータからアンインストールします。

**-host** host name : リモートコンピュータのホスト名 (または IP アドレス)。

## エージェントソフトウェアのインストールおよびアンインストールのためのオプション

エージェントソフトウェアをインストールまたは削除するには、次のオプションを利用します。

**log** ログ ファイル spRsManager\_<hostname>.log を、カレント ディレクトリに書き込みます。たとえば、エージェントソフトウェアを lab15 ホストにインストールした場合、spRsManager\_lab15.log ファイルが生成されます。

**user** Windows ドメイン ユーザーの名前。リモート アクセスでは、リモート コンピュータで適切な権限を持つユーザーを指定する必要があります。現在のユーザー名でリモート コンピュータにアクセスする場合は、このパラメータを省略します。

**domain** 指定されたユーザーが属する Windows ドメインの名前。ユーザーが、インストールを起動したコンピュータと同じドメインに属する場合は、このパラメータを省略します。

- pwdUser** 指定したユーザーのパスワード。パスワードが不要な場合は、このパラメータを省略できます。
- port** リモートエージェント コンピュータが応答するポートの番号。デフォルトのポート番号は 19200 です。
- ssl** リモートエージェント コンピュータとの通信に SSL を使用します。SSL を使用する場合、リモートエージェント コンピュータとは、セキュアな接続のためのデフォルトポート (ポート 19201) で通信します。エージェント コンピュータがそれとは別のポートに応答する場合は、そのポート番号を `-port` パラメータで指定する必要があります。
- httpProxy** リモートコンピュータとの通信に利用される HTTP プロキシの名前とポート番号。次の構文を使用します: `-httpProxy <host name> <port number>`。
- socksProxy** リモートコンピュータとの通信に利用される SOCKS プロキシの名前とポート番号。次の構文を使用します: `-socksProxy <host name> <port number>`。
- pwdService** リモートコンピュータ上のエージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するためのパスワード。

#### 例

```
perfRsManager -i -host deepblue -log -domain intra
                -user nobody -pwdUser 1234

perfRsManager -i -host deepblue -user alex -domain test
                -pwdUser 1234

perfRsManager -i -host 192.168.20.11

perfRsManager -i -host deepblue -log -ssl -port 19251
                -socksproxy 192.168.20.111 1080
                -pwdService 1rt34xy

perfRsManager -r -host deepblue -httpproxy proxy1 8080 -log
```

## 平均インストール時間

次の表では、特定のモデム タイプごとにリモートエージェントのセットアップにかかるおおよその時間を示しています。

| モデムのタイプ  | セットアップ時間 |
|----------|----------|
| 56 kbps  | 37 分     |
| 64 kbps  | 34 分     |
| 128 kbps | 16 分     |
| 256 kbps | 8 分      |
| 512 kbps | 4 分      |

## シナリオ

このセクションでは、さまざまなネットワーク環境において、リモートエージェントのセットアップを利用して、Silk Performer エージェント ソフトウェアをリモートコンピュータへインストール、再インストール、およびアンインストールする方法について説明します。

- シナリオ 1: コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 2: コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 3: コントローラ コンピュータを管理するユーザーはローカルにログオンし、それゆえ、ドメインにはログオンしない。
- シナリオ 4: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。
- シナリオ 5: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要がある。
- シナリオ 6: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要がある。

## シナリオ 1: 1 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 1 では、コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、またはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
-pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 2: 2 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 2 では、コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (とそのパスワード) を指定する必要があります (<user name>、<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>
-domain <domain name> -log
```



このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアを再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```



**注:**

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

コンピュータからエージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする

シナリオ 3 では、ユーザーは、コントローラ コンピュータにローカルでログオンし、ドメインにはログオンしません。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (user name) と、そのパスワード (password) を指定する必要があります。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>
                -domain <domain name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。



## シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 4 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合には、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 5 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、HTTP プロキシ経由で行われます (<proxy name>, <proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 6 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、SOCKS プロキシ経由で行われます (<proxy name>、<proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -u -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## トラブルシューティング

このセクションでは、リモート エージェントのセットアップ中に表示される可能性があるエラー メッセージと、その解決 (回避) 方法のリストを示します。

| エラー名            | 説明 / 解決方法   |
|-----------------|---|
| PerfORB: 23     | 接続を確立できませんでした。可能性のある理由： <ul style="list-style-type: none"><li>リモート コンピュータの Silk Performer エージェント サービスが実行されていません。</li><li>正しくないポート番号を指定している可能性があります。</li></ul> 解決策: リモート コンピュータの Silk Performer エージェント サービスを起動します。 |
| PerfORB : 29    | ORB はダウンしています。接続が不明な理由で切断されました。<br>解決策: リモート エージェントのセットアップを再実行します。  |
| Remote Setup: 4 | リモート コンピュータで新しいバージョンの Silk Performer が検出されました。  |

| エラー名            | 説明 / 解決方法  |
|-----------------|--|
| Remote Setup: 5 | <p>解決策: 前のバージョンの Silk Performer をインストールしないでください。</p> <p>リモート コンピュータに Silk Performer エージェントソフトウェアが既に存在します。 Silk Performer 4.0 (以上) がリモート コンピュータに存在しない場合にのみ、エージェントソフトウェアをインストールできます。</p>   |
| Remote Setup: 6 | <p>解決策: リモート コンピュータにエージェントソフトウェアをインストールするのではなく、アップグレードします。</p> <p>リモート コンピュータに Silk Performer コントローラソフトウェアが既に存在します。 Silk Performer 4.0 (以上) がリモート コンピュータに存在しない場合にのみ、エージェントソフトウェアをインストールできます。</p>   |
| System: 32      | <p>解決策: リモート コンピュータにエージェントソフトウェアをインストールするのではなく、アップグレードします。</p> <p>ファイルが別のアプリケーションで使用されているため、リモート エージェントのセットアップが特定のファイルにアクセスできません。</p> <p>解決策:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルがアクセスしているアプリケーションを終了して、リモート エージェントのセットアップを実行します。</li> <li>• ファイルがシステム プロセスによりロックされている場合は、コンピュータを再起動してからリモート エージェントのセットアップを再び実行します。</li> </ul> |
| System: 53      | <p>ネットワークパスが見つかりませんでした。 リモート コンピュータでレジストリ サービスが実行されていない可能性があります。</p> <p>解決策: リモート コンピュータのレジストリ サービスを起動します。</p>   |
| System: 1219    | <p>入力した認証情報が、既存の認証情報セットと競合しています。 対象コンピュータへのネットワーク接続が既に存在しています。 この接続は異なるユーザーとパスワードの組み合わせで確立されました。</p> <p>解決策: 次の DOS コマンドを実行して接続を切断します。 net use ¥¥&lt;machine name&gt; /delete</p> <p>接続が実際に切断されたかどうかを確認するには、次の DOS コマンドを実行します: net use</p>   |
| System: 10054   | <p>既存の接続がリモート コンピュータにより切断されました。 56 kbps より遅いモデムを使用しているときは、タイムアウトが発生した可能性があります。</p>   |

# 索引

## C

CD インストール 7

## E

Eclipse プラグイン  
インストールする 20

## H

HTTP プロキシ  
インストールのシナリオ 25

## S

ShopIt サンプル Web アプリケーション 19  
SilkMeter

- アンインストール 10
- インストール 9
- 構成の変更 11
- 接続のテスト 12
- ライセンス サーバーのインストール 10
- ライセンス サーバーの変更 11

Silk Performer  
エージェントのみのインストール 15

SOA Edition  
インストール 15

SOCKS プロキシ  
インストールのシナリオ 26

## W

Windows インストーラ サービス 17

## あ

アップグレード  
サービスパックへのアップグレード 17

アンインストール  
SilkMeter 10  
エージェント ソフトウェア 21  
サイレントモード 19

## い

インストール  
ShopIt サンプル Web アプリケーション 19  
Silk Performer 13  
SOA Edition 15  
アンインストール 17  
エージェント ソフトウェアのトラブルシューティング  
26  
概要 4, 13  
サイレントモード 18  
サイレントモードでのアンインストール 19

パッケージの内容 7  
リモート エージェント セットアップの平均時間 22  
インストールした機能の削除 17  
インストールする  
エージェント ソフトウェア 21

## え

エージェント ソフトウェア  
1 つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 23  
2 つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 23  
HTTP プロキシ経由のインストール 25  
SOCKS プロキシ経由のインストール 26  
インストール環境のシナリオ 22  
インストールするまたはアンインストールする 21  
インターネット経由のインストール 25  
リモート コンピュータへのインストール 21  
ローカル インストール 24  
エージェントのみのインストール  
Silk Performer 15  
平均インストール時間 22

## か

概要  
Silk Performer のインストール 13  
はじめに 4  
仮想ユーザー  
最大数 5

## さ

サービスパックへのアップグレード 17  
サイレントモード  
アンインストール 19  
インストール 18

## と

トラブルシューティング 26

## は

パフォーマンス  
スケーラビリティ 5

## ふ

フル インストール  
インストール 4, 7, 13, 15, 17-19, 22, 26

## ほ

ホスト ID 9

## 5

ライセンス  
概要 8  
ポリシーの生成 9

ライセンス管理  
接続のテスト 12  
ライセンス サーバー  
構成の変更 11  
要件 9  
ライセンス ポリシーの生成 9